

産田神社

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

産田神社（うぶたじんじゃ）は三重県熊野市有馬町の神社である。

由緒と歴史

「産田」は産所の意であり、『日本書紀』（神代卷上）一書には、伊奘冉尊（いざなみのみこと）が火の神である軻遇突智（かぐつち）を産んだ時に焼かれて死に、紀伊国の熊野の有馬村に埋葬されたと記されており、産田の名称は、伊奘冉尊の出産した場所によるといわれる^[1]。また、付近に位置する花窟神社が、亡くなった伊奘冉尊の墓所であるとされる^[2]。

創立は、崇神天皇の時代とも伝えられるが、天正年間（1573-1592年）に近隣の安楽寺が兵火にかかった際、延焼により焼失したため不詳である。古くは1132年（長承元年）、崇徳天皇が産田神社へ行幸したことが『熊野年代記』に記される^[3]。神社の歴史を示すものとしては、1521年（永正18年霜月14日）の棟札が認められる^[3]。

1600年（慶長5年）に豊臣秀頼より二王門が寄進されている。また、1732年（享保17年）には紀州藩より灯籠が寄付され^[3]、社殿が修復された^[1]。

1871年（明治4年）に郷社とされる。1906年（明治39年）12月25日に神饌幣帛料供進社として指定され、翌1907年（明治40年）12月6日には村内の小社5社を合祀した^[1]。

祭神

伊弉諾尊、伊弉冉尊、軻遇突智尊、天照皇大神、大山祇命、木華開耶姫命、神武天皇^[1]。

1521年（永正18年）の棟札には「奉棟上産土神社二所大明神」とあり^[3]、『紀伊続風土記』によると、「二所大明神」は伊弉冉尊と軻遇突智尊の2神を指すことから、当初は伊弉冉尊と軻遇突智尊が祀られ、後に夫神である伊弉諾尊が併祀されるようになったといわれる^[1]。

産田神社



所在地 三重県熊野市有馬町1814

位置 北緯33度52分50.5秒
東経136度4分42.1秒

主祭神 伊弉冊尊、軻遇突智尊

社格等 郷社

創建 不詳（崇神天皇代）

例祭 1月10日（大祭）
2月10日（春祭）
11月23日（秋祭）

境内

- 本殿 - 屋根に鯉木のある神明造。1929年（昭和4年）建立。
白石が敷詰められた本殿前には、用意されている草履に履き替えて入場する^[4]。
- 参籠殿

例祭

- 1月10日（大祭・弓引き神事）
- 2月10日（春祭）
- 11月23日（秋祭）

奉飯（ほうはん）の儀

神事の最後、直会（なおらい）の際に^[3]、汁かけ米飯、骨付きさんま寿司、赤和え（アカイ〈生魚の唐辛子和え〉）、神酒からなる「奉飯」と呼ばれる膳が振舞われる。

神徳

- 安産・子授け
伊弉冉尊は多くの神々の母であることから、古くより安産や子授け、子育てを祈願し、信仰されている。安産祈願の際、目を閉じて拾った石が丸いと女子、細長いと男子が産まれるといわれる^[5]。

文化財

- 産田神社祭祀遺跡
- 産田神社社叢

古代の祭祀の場である神籬（ひもろぎ）の跡が本殿の両側にあることから^[4]、当社は「産田神社祭祀遺跡」として1964年（昭和39年）4月28日に熊野市指定文化財の史跡に指定されており、また、社叢は「産田神社社叢」として同日、同じく市指定文化財としての天然記念物に指定されている^[6]。

交通

- JR東海紀勢本線・熊野市駅から三交バス金山行「産他神社前」下車^{[1][3]}。
- 熊野市駅から車で7分（距離1.6km）、駐車場有^[5]。
- 有井駅から徒歩10分。

脚注

- ¹ ^{a b c d e f} “神社の紹介 - 産田神社 (<http://kyoka.mie-jinjacho.or.jp/shrine/%E7%94%A3%E7%94%B0%E7%A5%9E%E7%A4%BE/>)”。三重県の神社. 三重県神社庁 教化委員会 (2012年7月). 2015年8月17日閲覧。
- ² ^a “由緒書 (<http://www.hananoiwaya.jp/history.html>)”。花窟神社. 2015年8月25日閲覧。
- ³ ^{a b c d e f} 谷川健一編 編 『日本の神々 - 神社と聖地 6 伊勢・志摩・伊賀・紀伊』 白水社、2000年、470-471頁。ISBN 4-560-02506-1。
- ⁴ ^{a b} 岡田謙二 『日本のパワースポット案内 巨石巡礼50 (<https://books.google.co.jp/books?id=9U5AzVkUsLIC&pg=PA167&lpg=PA167&q>)』 秀和システム、2011年、167-170頁。ISBN 978-4-7980-3120-0。
- ⁵ ^{a b} “熊野「ご利益」七めぐり (<http://www.city.kumano.mie.jp/kankou/kumappu/gorieki.pdf>)” (PDF). くまっぷ. 熊野市観光スポーツ交流課. 2015年8月25日閲覧。
- ⁶ ^a “文化財 (<http://www.city.kumano.mie.jp/kankou/bunkazai.html>)”。熊野市. 2015年8月17日閲覧。

関連項目

- [日本書紀](#)
- [花窟神社](#)



ウィキメディア・コモンズには、**産田神社** (<https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Ubuta-jinja?uselang=ja>)に関連するカテゴリがあります。

外部リンク

- 岡田謙二. “産田神社 (http://home.s01.itscom.net/sahara/stone/s_kinki/mie_ubuta/ubuta.htm)”. 巨石巡礼. OKADA AD Office. 2015年8月25日閲覧。
 - “熊野市百科大事典: 名所・観光地『産田神社』 (<http://www.kumadoco.net/dictionary/report.php?no=178>)”. くまどこ. 東紀州ITコミュニティ. 2015年8月25日閲覧。
 - “産田神社例大祭 (<http://www.kumadoco.net/dictionary/report.php?no=16>)”. くまどこ. 東紀州ITコミュニティ. 2015年8月25日閲覧。
-

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=産田神社&oldid=98198155>」から取得